

**製品名: N33 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab14368**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TUSC3
別名	TUSC3; N33; Tumor suppressor candidate 3; Magnesium uptake/transporter TUSC3; Protein N33
遺伝子 ID	7991.0
SwissProt ID	Q13454
免疫原	抗血清はヒト TUSC3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

## 背景

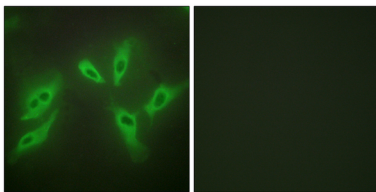
この遺伝子は腫瘍抑制遺伝子の候補であり、転移性前立腺癌のホモ接合欠失領域内に位置しています。この遺伝子は、前立腺、肺、

肝臓、結腸を含むほとんどの非リンパ系ヒト組織で発現しています。また、多くの上皮性腫瘍細胞株でも発現が検出されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写産物バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患: TUSC3 の欠陥は、精神遅滞の原因です。非症候性常染色体劣性遺伝性疾患 7 型 (MRT7) [MIM:611093]。精神遅滞は、適応行動の障害を伴う、発達期に発現する、平均を著しく下回る全般的な知的機能が特徴です。非症候性精神遅滞患者は、他の臨床徴候を示さない。機能:N-オリゴ糖転移酵素との関連により、N-グリコシル化に関与している可能性がある。類似性:OST3/OST6 ファミリーに属する。サブユニット:少なくとも RPN1/リボホリン I、RPN2/リボホリン II、OST48、DAD1、および STT3A または STT3B のいずれかを含むオリゴ糖転移酵素 (OST) 複合体と弱く関連する。組織特異性:前立腺、肺、肝臓、結腸、心臓、腎臓、膵臓など、検査されたほとんどの非リンパ系細胞および組織で発現している。

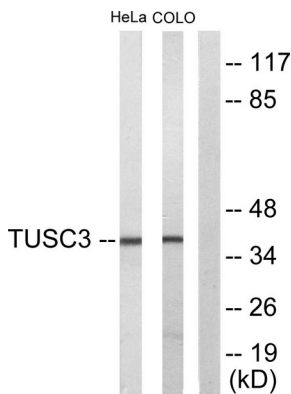
## 研究分野

N-グリカン合成;

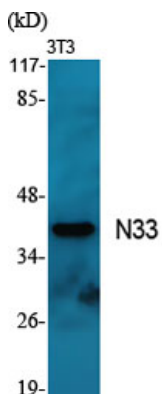
## 画像データ



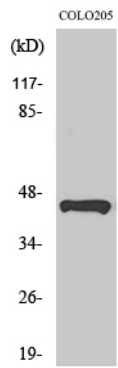
TUSC3 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TUSC3 抗体を用いた COLO205 細胞および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



N33 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



N33 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析